

名医にズバリ聞く！歯科治療最前線



イリエ歯科IKクリニック
総院長入江雄一郎医師

Q 従来型の入れ歯に
したとたん、トラブル
続出。浮き上がったり、
食事中に外れやすかったり。
硬いものも食べづら
い。見た目もイマイチ。な
んとかならないだろうか？

(会社員57歳)

入れ歯の概念を変えたといわれる、マグネット式入れ歯にいち早く取り組んできたイリエ歯科IKクリニック総院長の入江雄一郎医師に聞いてみた。

「人工歯根で歯をよみ
みえらせるインプラントの技術を応用し、
マグネットで固定させる最新式の入れ歯『マグプラント』が今、注目を集めています」

具体的には？

「インプラントと義歯部分に医療用マグネットが入るため、しっかりと固定され、自分の歯のような噛み心地です。マグネットを使っているの着脱が容易。義歯に衝撃があれば、簡単に外れるため安全性にも優れている。バネや人工歯茎が

入れ歯の概念変えるマグネット方式の「マグプラント」

【プロフィール】入江雄一郎（いりえゆういちろう）医師 1990年、大阪大学歯学部卒。米国ロマリンダ大学審美教室（DUNprof）研修。I.C.D.I.レーザーホワイトニングセミナー講師。審美歯科学会員

【所在地】「イリエ歯科IKクリニック」大阪府中央区南船場3ノ4ノ26 出光ナガホリビル12F（地下鉄心斎橋駅から徒歩5分）。☎06・6244・0818

ないで、見た目も自然です」と利点は多い。
従来のインプラントは3カ月、遅ければ半年もの治療時間を要したが。
「最新鋭診断画像処理システムや骨増幅用補充材、術前プレオペレーションによる予定加工など、歯科医師と技工士の技術とチームワークによって、およそ4日間で仕上げるシステムも創り上げました」という。
従来型の入れ歯に悩んでいる人には、マグプラントという方法も選択肢に加えてみては。